



ひょうごローズクラブ  
Hyogo Rose Club

# Scent of Roses

バラの香り

<http://www.rosehyogo.jp>

奥深いバラの世界	1
バラにまつわる話	2
ひょうごのバラ園	3
会員のページ	4
連載「世界の文献にみるバラの話」	6

表紙のバラ 作出50年を迎えた「天津乙女」(当クラブ理事 寺西菊雄氏 作出)

第7号  
2010.6



開花最盛期を迎えた姫路ばら園の上野昭子さん（ひょうごローズクラブ理事）を訪ねました。

# 奥深いバラの世界

その7

姫路ばら園は、姫路市内を流れる市川沿いにあり、2300㎡の庭に800品種3500株のバラが所狭しと咲き誇り、来訪者を圧倒します。30年以上に渡ってこのバラ園を慈しみ守ってこられた上野昭子さん。どのような思いでバラと寄り添ってこられたのでしょうか。上野さんにバラとの半生を語って頂きました。



人口を飾るピエール・ド・ロンサール

## バラとの縁が始まった頃のお話を聞かせて下さい。

30数年前、息子が鬼籍に入ったことで、主人が息子の為に何かをしたいと考え、所有していたこの地にバラを植えることを決心しました。バラは一本の木でたくさんの花が咲きます。また開花期が長い上、その美しさは見る人を惹きつけ、香りは心を癒やします。そうした魅力から、主人は「バラ」を選んだのだと思います。

ですが、バラのことを何も知らないままスタートしたのどにかく大変でした。近隣のシルバーの方々、そして藤岡友宏さん※が力を貸して下さったことで乗り切ることができました。最近では浅見均さん※が気を掛けて下さり、おかげで葉っぱに病気もなくてとてもきれいです。

## 一番印象に残っている出来事は？

平成13年5月19日に主人が亡くなりました。その日のバラ園は最高にきれいだったことが忘れられません。闘病中の主人はバラが咲くのを待って旅立ったのでしよう。バラが咲き出すと主人が亡くなった日のことが思い出されます。

## お客様へのメッセージをどうぞ。

「いちばん綺麗な時期はいつ」と聞かれますが、返答に困ります。品種によって最盛期が異なりますし、満開が好きかな、開花前の蕾が好きかななど好みはいろいろです。まずご自分

好きな花を見つけて下さい。私はピエール・ド・ロンサールをお薦めしています。またピカソという品種は表が赤、裏が白で枝ぶりがよく、活けて引き立ちます。お客様に「バラがきれい！」と言われるのが一番うれしいです。

## これからの姫路ばら園と上野さんは？

これからどうしましょうねえ……。バラの数が多くなりすぎてしまつて……。バラを減らし、レインボーツリーやハンカチの木など樹木を増やしてオシャレにしたいです。海外のバラ園にも何度か行きましたが、リヨンのバラが一番良かったです。緑が溢れていて、その中にバラがある……。そんなバラ園がいいですね。

本業は会社経営ですが、バラ園の運営を最優先しています。二足のわらじで大変ですが、バラ園に支えられているからこそ元気でいられます。息子と娘はバラ園に興味がないようなので、今後の成り行きは息子の将来の嫁しだいですね。

お忙しい上野さん。でもそんな素振りを感じさせず、ご主人の遺志を自然体で受け継がれていて、豊かな包容力と穏やかなお人柄を感じました。バラの魅力がなせる技でしょうか。

※ひょうごローズクラブ理事

藤岡氏は会報第6号、浅見氏は同第3号をご参照下さい。



上野昭子さん

兵庫県生まれ。昭和52年姫路ばら園開園。園内では各種講習会やコンサートなどを手がけ、ローズショップ、ローズカフェも併設。バラづくしのスペースを提供している。ひょうごローズクラブ理事



姫路ばら園全景



# 世界最大！

## エクアドルのプリザーブドフラワー生産

プリザーブドフラワーは、フラワーギフトやブライダルブーケなどとして年々人気が高まっています。その生産現場をご紹介します。

プリザーブドフラワーは、PRESERVE (保つ・保存する) と花から付けられた名前です。1980年代にイタリアで葉っぱ類の商品が開発され、その後1991年にバラのプリザーブドフラワーがフランスで発売され、日本で急速に普及しました。プリザーブドフラワーの技術は、世界中で今日本が最先端にあります。ヨーロッパでも近年普及してきましたが、まだ良い商品は全て日本が輸入しています。

では、プリザーブドフラワーの加工工程を説明します。この工程は、エクアドルにある当社の関連会社におけるアモロサ(ブランド名) 制作工程です。なお、通常プリザーブドフラワーを生産する企業の加工工程はシークレットで公開されていません。

アモロサは、エクアドルの標高2800mの赤道直下にあるカジンベ村にある、環境に優しい生産を認証するMPSを得た直営農場内の工場で作られています。エクアドルはバラの生産国で、花の大きさ・品質は世界トップクラスで、世界中に輸出しています。バラ農場は通常花は咲いていません。何故ならつぼみの状態で切り花としてカットされるからです。しかしプリザーブ用の農場は、バラが見事に咲いており、たいへん綺麗です。

そのバラを八分咲きでカットし、プリザーブ工場には運びます。最初にここで花を選別(花切れ・折れ・花形で30%のロスが発生)し、合格品が次の工程に進みます。最初に漂白(メーカーにより漂白工程の無い製造方法もあります)・柔軟加工(グリセリン処理)を1〜2日間行いその後自然



▲選別



▲漂白されたバラ



▲染色されたバラを乾燥



▲青く染色されたバラ



▲染色されたバラを成形

乾燥を行います。次に着色工程です。着色は、2〜3日間で人体に影響の無い染料で染められます。色は、ブルー・グリーン・ブラックなど自然に無い色から、赤・ピンク・イエローまで多くの色があり、各社独自に作られ展開されています。次に自然乾燥を7〜10日間かけて行います。最後に検品です、ここで約27%のバラがアウトになり、合格した商品がアモロサとして日本に空輸されます。

こうして出来上がったプリザーブドフラワーは、ソフトな感触とみずみずしい美しさ・バラに無い色彩があり数年間楽しめます。

(株)大近パルポート  
首藤 信行

▲美しい農場





ひょうごのバラ園  
クローズアップ

# 尼崎市農業公園 バラ園

No.9 

工業都市の尼崎になぜ農業公園？と、お思いになるかもしれませんが、尼崎市は昭和58年に、神戸市よりも先に「農業公園」という名を冠して当公園を開設しました。現在は、早春から晩秋にかけてウメ、サクラ、ポタン、バラ、ハナショウブ、ヒマワリ、コスモスなど四季折々の花が楽しめる公園として、尼崎市民のみならず関西一円から年間約10万人もの方々を訪れています。

場所は、市の北東部、市内では少なくなった田園地帯が広がる田能地区にあり、東側に猪名川、南と西側に田園というオープンスペースが広がる素敵なロケーションも持った36,000㎡の広さを持つ公園です。敷地には、北側に隣接する阪神水道企業団の地下の貯水施設（沈砂池）の上部を盛土し、そこを借地して整備した土地や、個人所有の農地などが含まれています。農家が公園内の農地を所有したまま、米の転作の一環として、景観植物であるハナショウブやポタンなどを栽培し、これを一般市民に開放するために園路整備などの基盤整備を市が行うという、農地も活用したユニークな手法で公園を整備しています。これが農業公園と称している所以です。

バラ園は公園の西側にある芝生広場を取り囲むように約2,000㎡にわたって広がり、尼崎市における最初の本格的な大規模バラ園となっています。ハイブリッドティーとフロリバンダを中心に約100品種、4,000株のバラを植栽しています。バラ園の他に68種7,300株のポタン園、73種25,000株のハナショウブ園などがあります。芝生広場で寝そべったり、お弁当を広げて楽しめる光景があちこちで見られ、くつろぎのスポットとして親しまれています。

また、地元農家とも密着しており、4月中旬から6月中旬には、地元の農家の方が園内に直売所を開設して、朝採り新鮮野菜や手作り漬物、タケノコの炊き込みご飯などを販売して人気を呼んでいます。

バラだけではなく、尼崎の意外な一面も楽しめる尼崎市農業公園に是非一度お越し下さい。

※尼崎市内には他にも、大井戸公園、水明公園、潮江公園、蓬川緑地、上坂部西公園といったバラをメインにすえた公園があり、阪神間ではバラづくりの先進都市となっています。（お問い合わせ先：尼崎市役所公園課 TEL 06-6489-6531）



## アクセス

- ・ JR宝塚線「猪名寺」駅東側から  
尼崎市営バス20番で「田能西」下車徒歩2分
- ・ 阪急神戸線の「園田」駅北側から  
尼崎市営バス20番で「田能西」下車徒歩2分

## お問い合わせ先

尼崎市役所農政課 TEL 06-6489-6542 FAX 06-6481-6020







さまざまな品種

豪華で美しいバラは他の植物とは異なり、ツンとすましていて実際は人間に話しかけ、心を動かす力があるように子供の頃から思ってきました。

サンテレビの「手づくり花づくり」という園芸番組のキャスターになってからは、バラがどれだけ多くの人に愛されているのか実感し、数あるバラ園や植物園でバラの魅力に触れ、それぞれの季節に表情を変えるバラに引きつけられるようになりました。バラは蕾のときから愛らしさをかもし出し、開いていくにしたがって違う魅力を見せ、ハラッと花びらを落とす時でさえ美しさを感じさせます。

花の後のローズヒップはハーブティーなどに使われますが、見ているだけでも宝石のように良いことが待っているように思えます。

このように、漠然とバラの魅力に浸っていた私ですが、ある時、郵便受けに入っていた長崎からの封書を開けた時、バラと人との深いつながりを知る事になりました。

毎年1月17日に神戸で行われる、阪神・淡路大震災のための追悼コンサート「いのりのとき」のスタッフをしている私は、その準備に追われていました。コンサートでは15年前の地震で被災した方々を中心とした合唱



宝石のようなローズヒップ

団がオリジナルのレクイエムを歌い、アナウンサーが全国から寄せられたメッセージを朗読するコーナーもありました。

封書の中味は長崎の中学生からのメッセージだったのです。“私は大きな地震は体験した事はありませんが、たくさんの方が亡くなったのは悲しいです。自分たちは原爆を落とされた地に住んでいますが、学校で『アンネのバラ』を育て平和を祈っています。これからもアンネの強い気持ちを大切にし、戦争や災害のおこらない世界を願ってアンネのバラを育てていきます。”という内容でした。

私は、中学生が植物に対してこれほどの思いを込められるという素晴らしさに驚き、気がつくとき唇が震えていました。遠く長崎から送られてきた一通のメッセージ。中学生がバラに込めた祈りが永遠に続くようにと願わず

にはられませんでした。



心地の良い読書

バラは美しいだけでなく、確かに人を動かす力があるのだと感じた瞬間です。私もこれからは、バラと会話をしながらその力を借りて生活して行こうと思います。



キャスター 高田 薫



## 淡路花博2010花みどりフェア ひょうごローズクラブガーデンに行ってきました!

5月23日、10年ぶりに明石大橋を渡り、ひょうごローズクラブの講習会参加を兼ねて淡路花博2010花みどりフェアに出かけました。講習会では、ともにひょうごローズクラブ理事の前野義博先生のバラの栽培講習と稲澤範治先生の寄せ植え実習がありました。あいにくの大雨で参加者は少なかったのですが、午前中は会場内に作られたローズクラブガーデンを前野先生とともにゆっくりと鑑賞して廻りました。花の由来・香りの違いなどの説明を受け、初歩的な質問にも分かり易く答えていただき、贅沢で充実した時間が過ごすことができました。

参加者の中に、ローズクラブガーデンの植え込みのお手伝いをされた方がいて、その時の様子も聞くことが出来ました。そうしたバラの愛好家同士の交流も講習会の楽しみの一つです。

午後からは、スタンダードのバラと自分で選んだ植物を素焼きの鉢に植え込みました。ポランティアの方が手伝ってくださって素敵な寄せ植えが出来ました。



ローズクラブガーデン

## 小さな我が家のローズガーデン、オンリーワンを目指してー

夢舞台のローズクラブガーデンとは比べものにならないですが、自宅で小さな薔薇の庭を作っています。5年前に義母から受け継いだ家の前の畑です。重いものを運ぶ時や私の手に負えないようなことは主人に頼みながら少しずつ庭作りを始めました。

バラを育てるのは難しく、次から次へと問題が起こります。土を入れて、枕木を並べ、レンガを敷いてバラの咲く庭を作っていますが、なかなか形になりません。また、最初に5本のバラを植えて始めた庭は、5年経った今も増え続けていて、もう植える場所がないくらいです。さらに、毎朝出勤の前に庭の様子を見て廻りますが、

花にコガネムシがいっぱい!辛い、どうしよう・・・なんとかせねば!と慌てることもたびたび・・・。それでも自分なりの解決方法を探しながら、完璧ではないけれどオンリーワンの庭を目指して悪戦苦闘しています。

5月。花の季節になると、バラの香りに誘われて家の横を通る散歩の方が増えます。庭の木陰で作業の合間に食事をしたり、お茶を飲んだり・・・私の至福のひとつです。

好奇心いっぱいのバラ好きおばさんは、今後も楽しく花作りしていきたいと思っています。



フェンスを飾る'パレード'



お気に入りの'グラハム・トーマス'

# 世界の文献にみるバラの話

兵庫県立淡路景観園芸学校  
主任景観園芸専門員 能勢 健吉

除く。特に小型のバラでこの育て方が適している。

一般的に『ガーデナーズ・クロニクル』として知られる週刊の園芸農業新聞は1841年から毎週発行され、当時の園芸農業事情が解る貴重な資料になっている。発行責任者は当時の植物学の大家であるリンドレー博士である。その中に「バラ」に関する記事も散見されるので、ここに栽培の歴史がわかる記事の一例を紹介し、当時のバラ栽培事情を見てみよう。

## I. バラ見本樹の植え方

よく目立つ場所、生育に適した場所に植えつける。散水時に葉に水がかかりやすい場所は避ける。場所が決まったらベッドを作り、茂みや芝生の形、園路の方向などを考えてから植え付ける。それが植栽デザインに大きく影響する。茂みの内側のカーブに近すぎないように30-35cm離して植え付けるのが良い。園路から1mほど離して植えてもよい。

## II. バラ見本樹の3タイプの育て方

### 1. ブッシュタイプまたはシュラブの見本樹

小型種では枝が5-6本で自根が出ている苗を選ぶ。強い茎なら30cm程に切り戻す。弱い茎なら1芽だけ残して切り戻す。バラはとにかく強いシュートを育てることが大切である。すべてのシュートは様々な長さで切り戻し、1-4芽は付くようにする。こうすると苗は細かい枝もなくすっきりと見える。どのバラでも剪定時にはシュートの芽を傷つけないように芽のすぐ上で切るようにする。シュートは競合しないように

選び切り取る。一旦株が十分な大きさと丈夫に育ったなら、数年間は管理がほとんど必要なくなる。何年か経ちシュートが枯れ始めたならこれを切り取る。

### 2. 木立ち性の見本樹

選び方は、①台木はまっすぐ伸び強く丈夫なものを、接ぎ芽はよく生育するように吟味されたものを、根は傷んでおらず、健康なものを選び、芽は株もと近くの強いシュートに接ぐ。②品種ごとに適切な生育計画をたてる。

植え付けや管理は絶えず注意を怠らない。生育が思わしくなければ、剪定を的確に行い樹を改善していく。地上部の高さに対して幅が2/3ほどに仕立て、株が充実するように育てる。

### 3. 同じ台木に幾種もの品種を接ぎ木した見本樹

最も風変りな見本樹であろう。健康で良い状態にするためにブライアー・ローズのB&Bを台木に用いる。台木は丈夫な枝を育てておく。植え付け時には、3本の丈夫な茎が残るようにする。生育に適した場所ので堆肥を土に入れ、植え付け後支柱をする。茎の芽は残し、3本の茎からさらに3本の枝を伸ばし、9本の枝に仕立てて6月に芽を接ぐ。この接いだ芽だけが独立して育つように仕立てる。接ぐ芽はすべて異なる品種となるので、小枝の性質がそれぞれ異なる。ゆえに剪定は込み合った部分を切るのが基本である。生育を妨げず、花穂が適切に形成されるように余分な茎葉は取り



ブライアー・ローズ

英名 Briar Rose, Dog Rose

学名 Rosa canina

ヨーロッパ、北アフリカから西アジアに自生するツル性のバラ。落葉性で1-5mの長さに伸長し、樹に這いあがることも多い。

花は淡ピンク色で直径4-6cmほどになる。

